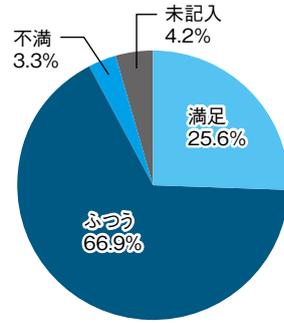


問9 市からの市政情報の提供



【問9の結果のまとめ】

平成27年4月から市広報紙の発行回数が、月2回から月1回に減りましたが、「満足」と「ふつう」を合わせると92.5%と高い割合になっています。市広報紙の掲載内容の再考、行政情報放送の内容の精査、市ホームページの充実など、広報媒体全体で効果的な市政情報の提供に努めたことが、市広報紙の発行回数減を補っていると考えられます。



問10 「広報とよおか」についての意見・要望

▽記事の提案

- ・各地区の話題やコミュニティ情報、地域の声・顔など身近な話題
- ・グルメ情報(お店や食材)
- ・結婚やおめでた、お悔やみ
- ・求人情報、企業紹介

▽掲載内容の要望

- ・全体的な記事と地域別記事を分けて掲載してほしい。
- ・写真がたくさんあると見にくくなる。

▽その他

- ・内容が充実している。
- ・もっと読んでみようと思う内容にしてほしい。
- ・住民に必要な情報が何であるか考えてほしい。
- ・市長の徒然日記が楽しみ。
- ・月1回発行でいい。

【問10の結果のまとめ】

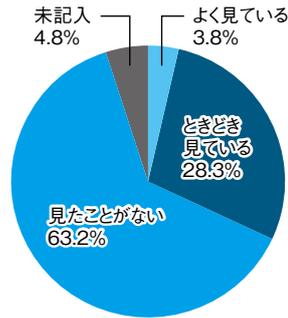
提言を

受けた事項は、紙面づくりの参考にします。

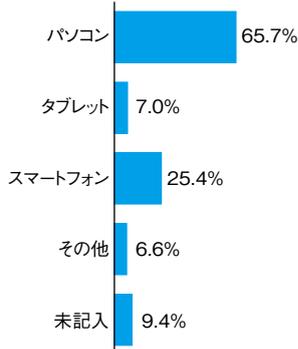


市ホームページ

問11 市ホームページを見えていますか



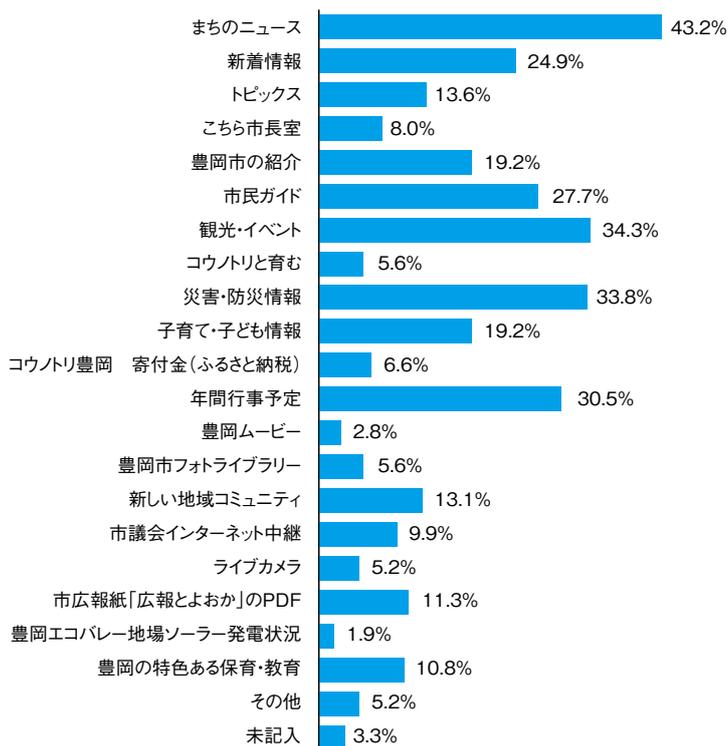
（見ている方対象）
問12 市ホームページを見る方法



【問11、12の結果のまとめ】

市ホームページを見たことがない人が、63.2%にも上っています。閲覧方法別では、パソコンが高いです。

問13 市ホームページの掲載記事で、役立つ(興味深い)記事(該当するもの全て)



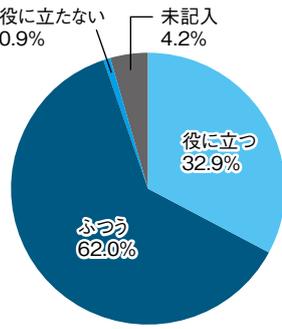
【問13の結果のまとめ】

「まちのニュース」が最も高く、「観光・イベント」「災害・防災情報」「年間行事予定」と続いています。上位3記事は、前回調査でも同じ順位です。「年間行事予定」が4位、「市民ガイド」が5位に順位を上げています。

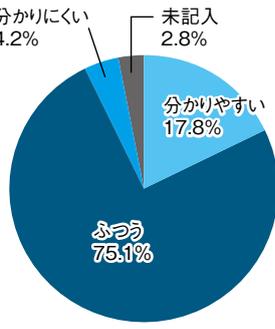
「新着情報」は6位に順位を下げています。このことから、新しいだけの情報よりも、イベントや生活情報など、より身近な情報にニーズが集まる傾向が伺えます。

問14 市ホームページの掲載内容

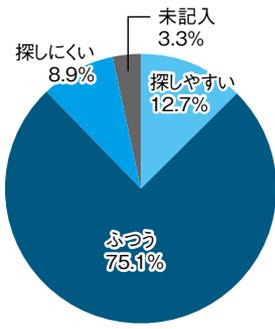
▽有益性



▽分かりやすさ



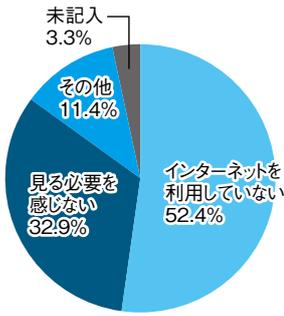
▽情報の検索



【問14の結果のまとめ】

有益性は「役に立つ」と「ふつう」を合わせると94・9%、分かりやすさは「分かりやすい」と「ふつう」を合わせると92・9%、情報の検索は「探しやすい」と「ふつう」を合わせると87・8%と高い割合になっています。今後も引き続き、より使いやすいホームページを目指し、改良を重ねていきます。

問15 市ホームページを見ない理由



【問15の結果のまとめ】

インターネットを利用していない人が52・4%もありま。これを年代別に見ると、10代から30代が13・0%、40代から50代が36・8%であるのに対し、60代以上は69・1%となっています。

問16 市ホームページについての意見・要望

▽記事の提案

- ・市政の重要課題や懸案事項
- ・お悔やみやおめでた
- ・各地の文化、歴史等の紹介

▽掲載内容の要望

- ・イベント等の表示を分かりやすくしてほしい。
- ・防災の河川情報を変更されるから、大変使いにくい。

▽その他

- ・広報があるのでホームページは見ない。
- ・行政情報放送で「詳細はホームページ」と聞くが、パソコンのない家庭が多くある。フォローは考えているのか。
- ・調べたいことを手軽に見ることができるので便利だ。充実した内容である。それだけに、活用に向けてのアップルが必要である。
- ・豊岡市ムービーライブラリーを楽しみにしている。

【問16の結果のまとめ】

提言を受けた事項は、ホームページづくりの参考にします。

総括

▽市広報紙

回答者の85・6%が、市広報紙を市の情報を得る主な手段と考えており、85・9%が市広報紙を読んでいます。しかし、10代では12・5%、20代では51・5%しか読んでおらず、読まない理由を分析し、若年者に読んでもらうための取組みが必要です。

文字の大きさ、ページ数、掲載内容は、現行でよいという意見が多数ですが、ページ数の増量は「読みづらさ」を招くことから、掲載量の圧縮に引き続き心掛けます。

市からの情報提供は、回答者の92・5%が満足またはふつうと回答しています。市広報紙の発行回数の減少を他の広報媒体の活用で補うことができたと考えます。

掲載記事については、身近な情報に対する市民の関心の高さが伺えることから、各地区の話などを検討するとともに、写真やグラフなどを活用し、親しみやすい広報紙づくりに努めます。

▽市ホームページ

市の情報を得る主な手段と

して「市ホームページ」を選択した回答者は8・0%です。「市ホームページを見たことがない」という回答者は63・2%のため、利用者の拡大を図ります。また、他の広報媒体と比べ、自分で情報を検索する必要のあるホームページが敬遠される傾向が伺えるため、簡単に必要な情報が入手できる工夫が求められます。

ホームページで役立つ記事では「まちのニュース」「観光・イベント」「災害・防災情報」の上位3記事は前回調査と同じですが「年間行事予定」と「市民ガイド」が順位を上げています。より身近な情報にニーズが集まる傾向にあるため、ニーズに合わせた情報発信を心掛けていきます。

閲覧方法では、スマートフォンが、前回調査の11・8%から25・4%と倍増しています。平成30年6月から稼働する新ホームページでは、スマートフォン対応のシステムを構築することを検討します。

広報アンケートの結果報告書は、市ホームページ・秘書広報課窓口で閲覧できます。